

地域防災力の要 訓練の成果を披露

平成30年度白石市消防団春季消防演習

4月8日、「平成30年度白石市消防団春季消防演習」を白石川緑地公園で行いました。演習には白石市消防団の8分団から590人が参加。通常点検や部隊訓練のほか、機械器具点検、ポンプ操法、分列行進などを行い、本番さながらに訓練を繰り広げました。

山田市長は「今日は新しい防火衣を身にまとい、実地放水を行う皆さんの勇姿を楽しみにしています」とあいさつ。佐久間富次消防団長は「消防団員として市民から尊敬される立ち振る舞いをし、信頼に応え続けられるよう努力してほしい。消防団の活動を支えてくれる方々に感謝の気持ちを忘れないでほしい。普段から自分の体を大切にし、消防人として末永く活動してください」と団員へ訓示しました。

演習の最後は、恒例の白石川への一斉放水。33台のポンプから吸い上げられた水は勢よく舞い上がりアーチを作っていました。



1_新調した防火衣を着用して一斉に放水をする消防団員たち 2_素早い消火活動を行うためのポンプ操法訓練を披露する消防団員 3_一糸乱れぬ分列行進の姿から、市民の安全・安心を守ろうという気概が伝わる

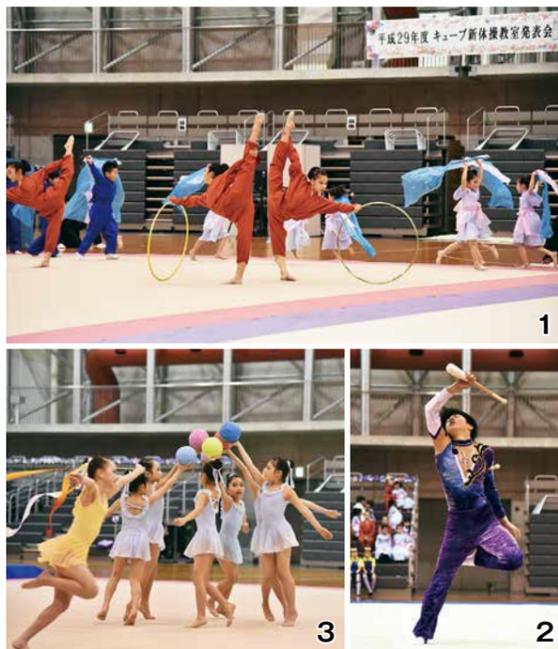
新体操の魅力、爛漫！

キューブ新体操教室発表会

3月24日、ホワイトキューブで「キューブ新体操教室発表会」が行われ、同教室の生徒や仙台大学からの招待選手など約90人の選手が、訪れた保護者や来賓の方々に1年間の練習の成果を披露しました。

ホワイトキューブ開館20周年を記念した今大会は、昨年の全国大会などで輝かしい成績を収めた選手たちを筆頭に、個人・団体の力強く華やかな演技や、招待選手の迫力ある演技、キッズチームのかわいらしいダンス、ユーモアあふれる集団演技などで会場を盛り上げていました。また、同教室の卒業生チームとチアダンス教室チームが初めての参加。発表会に花を添えていました。

今年も昨年に引き続き、7月にベラルーシ新体操ナショナルチームが東京オリンピックに向けた事前合宿に本市を訪れ、同教室の選手たちとの交流や演技発表会を行う予定です。



1_戦国時代の忍者の世界を表現したエンディング 2_昨年の全日本ジュニア新体操選手権大会で個人総合7位に輝いた星野太希くん。今年も上位入賞を目指します 3_リボンやボールを使って演技した同教室女子A・Bクラス

蔵王山麓に春到来！

水芭蕉の森・どうだんの森開園式

4月5日、「水芭蕉の森・どうだんの森開園式」を福岡深谷の同園地で開催し、関係者など約100人が参加しました。比較的暖かな日が続き、この日の天気も晴天。例年より1週間ほど早く約50,000株の水芭蕉が見ごろを向かえ、訪れた参加者たちは「晴天で足元もよく、満開の水芭蕉がとてもきれいでした」「水芭蕉を見ると春だなと感じます」と笑顔で話してくれました。

どうだんの森は、例年5月から6月までが見ごろです。



▲写真を撮りながら散策を楽しむ参加者たち

満開の桜の中 交通安全へGo！

春の交通安全県民総ぐるみ運動出動式

4月6日から15日までの期間、春の交通安全県民総ぐるみ運動が実施され、初日の6日、白石城本丸広場で出動式を行いました。当日は白石警察署員など関係者約120人が参加。出動式で白石警察署の土井善郎署長が「昨年、県内では統計開始以来最小の交通死亡事故数でしたが、市内では4人が亡くなる事故がありました。地域と連携してこの運動を盛り上げていきたいです」とあいさつ。最後に「白石警察署甲冑隊」と参加者が関の声（とき）を上げ出発しました。



▲桜満開の白石城本丸広場からパトロールに出発する車両

目指せ！ 山崎バニラ賞

小学生がこけしの絵付け体験

4月13日、福岡小学校でこけしの絵付け体験が行われました。この絵付け体験は弥治郎系こけし工人などを講師に迎え、市内小学校6年生を対象に実施。工人から顔の描き方などを教わり、体験した児童は「伝統文化に触れることができてよかったです。ろくろを使うのが不安でしたが、やってみると楽しくてまた家族とやってみたいです」と笑顔で話してくれました。

児童の作品は「第60回全日本こけしコンクール」の会場で展示されます。



▲ろくろを使った絵付けの方法を教わる児童たち